

共用品推進機構だより 2018年07月13日 (14)

目次

(46) 共用品推進機構関連記事

- ▽「わたしは共用品 電動アシスト自転車／星川安之」
- ▽「ブログを更新しました！」
- ▽「『2018年版 JIS ハンドブック 38 高齢者・障害者等アクセシブルデザイン』
発行のお知らせ」

(47) 各種催しとお知らせ

- ▽「映画『子どもが教えてくれたこと』公開のお知らせ」

(48) サービス関連記事

- ▽「高齢者や障害者対応の客室拡充／京王プラザホテル」

(49) 新刊紹介

- ▽『手話の歴史 ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 上』
- ▽『手話の歴史 ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 下』
- ▽『障がい者の能力を戦力にする 新しいカタチの「特例子会社」』

(46) 共用品推進機構関連記事

▼「わたしは共用品 電動アシスト自転車／星川安之」

皆さんは、電動アシスト自転車に乗ったことありますか。

私が初めて乗ったのは、2年前。子供ができた娘が購入したので、乗ってみようとすると、娘から「最初の漕ぎ始め、グ〜ンとスピードが出るから気を付けてね」と注意を受けました。

孫を後ろに乗せ、ベルトを締め、ヘルメットをかぶらせたところで、自転車のキーを差し込み、スイッチを ON にし準備完了。「グ〜ン」の言葉が脳裏に浮かび、孫には知られまいと冷静を装い、ついに生まれてはじめての体験がスタートしたのです。

右足、左足と漕いだ時、その時がやってきました。少しだけ背中が後ろに引っ張られる体感でしたが、普段、交互に力を入れていたのが、何と、ほとんど力いらず。

しかし慣れてくると、アシストも当たり前に思うのが人間の性（さが）というもので、ありがたみを忘れかけた時、上り坂にさしかかりました。大切な孫を乗せているので重さも増加しているはずですが、急にペダルが軽くなり、電動アシストの本領を発揮し始めたのです。思わず嬉しく笑みがでくるほどの快適さです。

今、高齢者の自動車運転が問題になっています。クルマから自転車に乗り直してみるのもいいかもしれません。ただし、安全のためヘルメットの着用、定期点検、そしていざという時のために保険への加入は忘れずに！

(シルバー産業新聞 7月10日号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

- ・宮城県仙台第一高等学校の生徒さんに授業
- ・平成29年度共用品推進機構 活動報告会 講演会編
- ・平成29年度共用品推進機構 活動報告会 法人賛助会員紹介編
- ・平成29年度共用品推進機構 活動報告会 交流会

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

▼「『2018年版 JIS ハンドブック 38 高齢者・障害者等アクセシブルデザイン』が発行されました」

日本規格協会から、2018年度版の JIS ハンドブックが発行されました。

<JSA Web Store>

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0100/index/?syohin_cd=318645

(47) 各種催しとお知らせ

▼「映画『子どもが教えてくれたこと』公開のお知らせ」

主人公はアンブル、カミーユ、イマド、シャルル、テュデュアルの5人の子どもたち。彼らに共通するのは、みな病気を患っているということ。治療を続けながらも、彼らは毎日を精一杯生きている。家族とのかけがえのない時間、学校で仲間たちと過ごすひと時。辛くて痛くて、泣きたくなることもある。けれど、彼らは次の瞬間、また新たな関心事や楽しみを見つけ出す。そんな子どもたちを、カメラは優しく、静かに見つめ続ける。

監督・脚本：アンヌ＝ドフィーヌ・ジュリアン

出演：アンブル、カミーユ、イマド、シャルル、テウデュアル

配給：ドマ / 宣伝：VALERIA

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

日本語字幕：横井和子 / 字幕監修：内藤俊夫

2016年／フランス／フランス語／カラー／80分／ヴィスタサイズ／DCP

原題：『 Et Les Mistrals Gagnants 』

公開日：7月14日（土）より順次公開

< 劇場情報『子どもが教えてくれたこと』 >

<http://kodomo-oshiete.com/theater.html>

< 『子どもが教えてくれたこと』公式サイト >

<http://kodomo-oshiete.com/>

(48) サービス関連記事

▼「高齢者や障害者対応の客室拡充／京王プラザホテル」

京王プラザホテルは高齢者や障害者に配慮したユニバーサル対応を強化する。

12月中旬に車いすで利用可能なユニバーサルデザイン（UD）の客室を増やすほか、視覚障害者が過ごしやすいように客室の照度を調節できるようにする。より広くて高級感のあるUDの客室も提供し、新たな顧客を開拓する

2002年に設置したUDの客室10室で家具や備品を入れ替えるとともに、既存の10室より広い3室を新たにユニバーサル対応とする。UDの客室は車いすの移動経路を確保しており、浴室は握力が弱い人でも閉会しやすい扉などを備える。

視覚障害者にも対応する。UDの客室ではスタッフが照度を調節できるようにする。エレベーターの前は廊下より濃い色のカーペットを敷いて場所をわかりやすくする他、客室番号は触って判別可能な文字にする。

(日経MJ 7月6日9面より抜粋)

(49) 新刊紹介

▼『手話の歴史 ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 上』

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。上は、アメリカ初のろう学校教師ローラン・クレールの回顧を軸に、フランスとアメリカのろう教育の変遷を描く。

著：ハーラン・レイン

訳：斉藤渡（さいとう・わたる）

発行：築地書館

本体価格：2500円（税別）

ISBN：978-4-8067-1560-3

▼『手話の歴史 ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 下』

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。下は、ローラン・クレールの死から1900年までのろう教育がたどった道と、その考察を収録する。

著：ハーラン・レイン

訳：斉藤渡（さいとう・わたる）

発行：築地書館

本体価格：2500円（税別）

ISBN：978-4-8067-1561-0

▼『障がい者の能力を戦力にする 新しいカタチの「特例子会社」』

「障がい者雇用」を推進し、増収増益の優良企業へと成長した楽天ソシオビジネス。その10年の軌跡を克明に記すとともに、人材育成、業績アップのノウハウを余すところなく伝える。

著：川島薫（かわしま・かおる）

発行：中央公論新社

本体価格：1200円（税別）

ISBN：978-4-12-005085-5

（編集後記）

7月11日（水）、東京ドームホテル（東京都文京区）にて平成29年度の活動報告会を開催致しました。

今年のテーマは「共に働く、共に創る～誰もが活躍できる社会を目指して～」。

当日は、法人賛助会員並びに関係者87名の出席を頂きました。

来年は共用品推進機構設立から20周年を迎えます。

引き続き多くの共用品・共用サービスの情報をお伝えしていきたいと思えます。（森川美和）

活動報告会の様子は共用品ニュース（ブログ）にて公開中です。

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>